



水戸発・異業種交流会「一会倶楽部」代表 金原 榮氏

かねはら さかえ
1953年、高萩市出身。東京にて10年間、広告デザイン業界に従事。1983年開業直前の「水戸プラザホテル」営業企画担当へ転職。宴会予約支配人、料飲支配人などを経て「センチュリープラザ石岡」初代総支配人。2001年「新・水戸プラザホテル」総支配人室室長に着任。後、副総支配人兼企画室長。3月、総合結婚式場「センチュリープラザ那珂」総支配人。2010年4月「水戸プラザホテル」の企画室室長就任。2011年2月、伊勢基グループ退職。1994年、一会倶楽部発足。http://www.ichie.jp/

きれいな花だから名前を知りたくなるように 人も、魅力ある方だから お話ししたくなるのです。

惹かれるから、名前を知りたくなり、謂れを聞きたくなるものです。肩書きを見て、興味を持った関係は仕事が終わります。その人の生き方、考え、得たもの、手放したもの：「異質」である経験、価値観に好奇心と自分の向上心が刺激されるものです。自分とは異質な人、異質な文化、異質な環境と接することで吸収するものがあるのです。

当会の基本スタンスはギブ&ギブ&ギブです。「参加したら何がもらえますか」そうお考えの方にはおもしろくなく、疲れるだけの時間になるでしょう。縁あって、出会えた人に「自分は何ができるか、してあげられるか、させてもらえるか」その自己との切磋琢磨の出会いが清々しいのです。誰とも比べない、誰とも競争しない。昨日の自分より成長できればメンバーから、心からの拍手がもらえる会なんです。

毎回初心、その継続が2000回開催に……

現在、20代から60代まで、経営者からアルバイト。高萩、つくば市からも参加してくれています。規約も、幹部会議も先輩も後輩もない。毎日が新鮮、毎日が最高なんです。

幹事である私が、楽しくなかったら、とづくに止めています。自分がやりたいこと、楽しいことを続けて来ただけです。あなたの人生、何があったら幸せですか。名譽ですか、権力ですか、財産ですか。どれもすばらしいものです。でも、心が開ける、本気で心配してくれる友人が何人いますか。きつと、友人のいない人生は寂しいものでしょう。美味しい食事を楽しい仲間と味わえる時間は至福の時です。もちろん最高の場にするための努力も必要です。席を同する方のためにドレスを選ぶ、タキシードを着る。話題づくりも日頃から蓄えて置く。おしゃべりは他人のためにするものです。ドレスを着ていく所が無いから持っていない。持つていないから着こなせない。あなたの美しさを引き立てる色、デザインがあるはず。当会は女性の力が多いのはこのおしゃべりの楽しみがあるからでしょう。皆さん、スーツを着替えるように、気持ちもプラスに着替えてお出でになります。

平成6年、5人の有志でスタートしました。現在、正会員57名。17年間の延べ出席人数は5,000名を越えます。月1回の定例会場は水戸を中心としたレストラン。常に

新しいお店を用意します。この店選びも幹事の大事な役目です。自ら出向き、店に入った瞬間、スタッフの動きで味、サービスは計れます。新しくとも魅力があつて、活気ある店に世話になります。1回1回が新鮮、1回1回を全力投球です。

参加者全員が主役 私は、ホストに徹する。

この会は目的も無い、規約も無い。特別ゲストも講師も居ない。無理もせず、強制もしない。きつと、仕事にもつながらないでしょう。会食をしながら語りあつてもらうだけです。……席は、くじ引きで決まります。その時の縁、運、その方との引き合いで決まりすから少しワクワクします。初めての参加で会話に入れない人には、お声をかけます。緊張している方には肩に手をかけることもします。つまらない人がいれば、つまらなくさせません。一部だけが盛り上げるのではなく、一人ひとりを主役にする。もちろん途中で帰しません。それは、帰る人が悪いのではなく、主催者が悪い、内容が悪いと考えていますから……。

人と人が出会えたことで、何かが生まれ、何かが始まります。その

ビジネス脈でなく、 人脈、心脈を広げましょう。

「六次の隔たり」という言葉があるように、誰でも六人の人を介せば、世界中の誰ともつながると言えます。確かに、自分の知り合いを50名あげて、その一人ひとりがさらに50名の知り合いをあげてみる。この時点で2,500名になります。この計算を5回繰り返すと六人目には150億人を超すことになり、六人目はこの知り合いは世界ということ。でも、実際はもっと近いところで、いろいろな場面で出会っています。会社の同僚が、子どもの友達のお父さんであったり、地域の役員であったりして人間関係は複合的に絡み合っています。でも、そのベース、根幹である人として、どれだけ分り合っているかと、問うたら薄いものかも知れません。私は、名刺交換から始まる従来のヒューマンネットワークには無理があると考えていました。ビジネスでは最初に立場、関係が決まってしまう。この壁を越え、人としての魅力に分かり合うまでには膨大な時間が必要です。花も、人も、その本質に

なかで私も、人の強さ、心の豊かさを教わりました。人は、人との支えのなかで磨かれると思います。少しずつ、磨かれるなかで、自分自身を知ることでもできました。「感謝しています。」時代が変わるうが、経済が変わるうが、人と人のつながりの強さは変わりません。これからも、楽しんでもらえる、いい出会いができる空間を創って参ります。



「第200回記念オープン例会」